

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	1. 先進国セレクト債券マザーファンドの受益証券 2. 新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券
	先進国セレクト債券マザーファンド	先進国通貨建ての債券
	新興国セレクト債券マザーファンド	新興国通貨建ての債券
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、外貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 先進国通貨建ての資産と新興国通貨建ての資産への投資割合をおおむね6対4とします。</p> <p>ロ. 投資対象通貨および基本通貨配分は、各通貨建ての債券の金利水準、信用力、市場規模、流動性等を勘案して決定します。 ※投資対象通貨および基本通貨配分は、投資環境等が著しく変化した場合に変更することがあります。</p> <p>ハ. 基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して、実際の運用における通貨別投資比率を決定します。</p> <p>ニ. 投資対象とする債券は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証するものとします。</p> <p>③マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④マザーファンドの受益証券の組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	先進国セレクト債券マザーファンドの株式組入上限比率 新興国セレクト債券マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

世界セレクト債券ファンド （毎月決算型）

運用報告書（全体版）

第83期	（決算日	2016年8月22日）
第84期	（決算日	2016年9月20日）
第85期	（決算日	2016年10月20日）
第86期	（決算日	2016年11月21日）
第87期	（決算日	2016年12月20日）
第88期	（決算日	2017年1月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）」は、このたび、第88期の決算を行ないました。

ここに、第83期～第88期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド(円換算)		公 社 債 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
59期末(2014年8月20日)	9,434	60	0.4	13,518	1.4	15,144	0.4	97.5	228
60期末(2014年9月22日)	9,576	60	2.1	14,028	3.8	15,581	2.9	97.4	218
61期末(2014年10月20日)	9,328	60	△ 2.0	13,834	△ 1.4	15,197	△ 2.5	95.3	209
62期末(2014年11月20日)	10,061	60	8.5	15,106	9.2	16,493	8.5	93.1	218
63期末(2014年12月22日)	9,867	60	△ 1.3	15,346	1.6	15,774	△ 4.4	94.2	211
64期末(2015年1月20日)	9,814	60	0.1	15,021	△ 2.1	15,609	△ 1.0	94.5	210
65期末(2015年2月20日)	9,499	60	△ 2.6	14,979	△ 0.3	15,583	△ 0.2	96.1	203
66期末(2015年3月20日)	9,128	60	△ 3.3	14,913	△ 0.4	15,034	△ 3.5	96.2	190
67期末(2015年4月20日)	9,172	60	1.1	14,867	△ 0.3	15,321	1.9	95.7	191
68期末(2015年5月20日)	9,277	60	1.8	14,940	0.5	15,687	2.4	96.1	189
69期末(2015年6月22日)	9,219	60	0.0	15,198	1.7	15,456	△ 1.5	96.9	182
70期末(2015年7月21日)	9,052	60	△ 1.2	15,108	△ 0.6	15,443	△ 0.1	97.8	171
71期末(2015年8月20日)	8,692	60	△ 3.3	15,380	1.8	14,530	△ 5.9	97.8	161
72期末(2015年9月24日)	7,800	60	△ 9.6	14,922	△ 3.0	13,427	△ 7.6	96.5	143
73期末(2015年10月20日)	8,077	60	4.3	15,014	0.6	14,148	5.4	96.6	146
74期末(2015年11月20日)	8,219	60	2.5	15,030	0.1	14,325	1.3	96.7	148
75期末(2015年12月21日)	7,761	60	△ 4.8	14,895	△ 0.9	13,644	△ 4.8	96.8	137
76期末(2016年1月20日)	7,223	60	△ 6.2	14,459	△ 2.9	12,802	△ 6.2	93.6	125
77期末(2016年2月22日)	7,173	60	0.1	14,216	△ 1.7	12,831	0.2	89.0	115
78期末(2016年3月22日)	7,326	60	3.0	14,211	△ 0.0	13,655	6.4	93.5	117
79期末(2016年4月20日)	7,313	60	0.6	14,064	△ 1.0	13,839	1.3	97.9	112
80期末(2016年5月20日)	6,907	60	△ 4.7	13,996	△ 0.5	13,243	△ 4.3	96.8	106
81期末(2016年6月20日)	6,697	60	△ 2.2	13,484	△ 3.7	12,927	△ 2.4	96.1	102
82期末(2016年7月20日)	6,722	60	1.3	13,725	1.8	13,532	4.7	95.6	103
83期末(2016年8月22日)	6,491	60	△ 2.5	13,157	△ 4.1	13,298	△ 1.7	97.1	95
84期末(2016年9月20日)	6,349	60	△ 1.3	13,158	0.0	13,191	△ 0.8	96.7	93
85期末(2016年10月20日)	6,439	60	2.4	13,167	0.1	13,548	2.7	96.9	93
86期末(2016年11月21日)	6,365	60	△ 0.2	13,445	2.1	13,323	△ 1.7	92.8	91
87期末(2016年12月20日)	6,620	60	4.9	14,129	5.1	14,247	6.9	95.4	92
88期末(2017年1月20日)	6,444	60	△ 1.8	14,026	△ 0.7	14,214	△ 0.2	96.0	87

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) JPモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド(円換算)は、JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

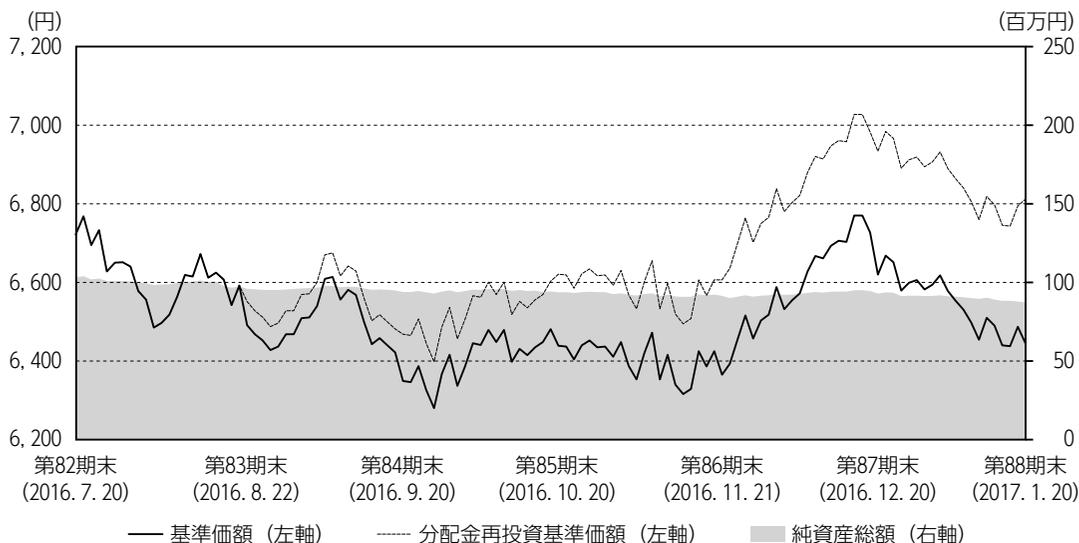
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第83期首：6,722円

第88期末：6,444円（既払分配金360円）

騰落率：1.3%（分配金再投資ベース）

■ 組入ファンドの当作成期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
先進国セレクト債券マザーファンド	5.9%
新興国セレクト債券マザーファンド	△3.7%

■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入が基準価額の上昇要因となる一方、債券価格がおおむね下落したことが基準価額の下落要因となりました。また先進国通貨を中心に、投資している通貨が円に対しておおむね上昇したことが基準価額の上昇要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) (参考指数)		JPモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) (参考指数)		公 社 組 債 比 入 率
		円	%	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
第83期	(期首) 2016年7月20日	6,722	—	13,725	—	13,532	—	95.6
	7月末	6,640	△ 1.2	13,617	△ 0.8	13,277	△ 1.9	95.7
	(期末) 2016年8月22日	6,551	△ 2.5	13,157	△ 4.1	13,298	△ 1.7	97.1
第84期	(期首) 2016年8月22日	6,491	—	13,157	—	13,298	—	97.1
	8月末	6,509	0.3	13,423	2.0	13,274	△ 0.2	96.9
	(期末) 2016年9月20日	6,409	△ 1.3	13,158	0.0	13,191	△ 0.8	96.7
第85期	(期首) 2016年9月20日	6,349	—	13,158	—	13,191	—	96.7
	9月末	6,337	△ 0.2	13,295	1.0	13,258	0.5	96.5
	(期末) 2016年10月20日	6,499	2.4	13,167	0.1	13,548	2.7	96.9
第86期	(期首) 2016年10月20日	6,439	—	13,167	—	13,548	—	96.9
	10月末	6,411	△ 0.4	13,280	0.9	13,570	0.2	96.2
	(期末) 2016年11月21日	6,425	△ 0.2	13,445	2.1	13,323	△ 1.7	92.8
第87期	(期首) 2016年11月21日	6,365	—	13,445	—	13,323	—	92.8
	11月末	6,518	2.4	13,807	2.7	13,524	1.5	94.5
	(期末) 2016年12月20日	6,680	4.9	14,129	5.1	14,247	6.9	95.4
第88期	(期首) 2016年12月20日	6,620	—	14,129	—	14,247	—	95.4
	12月末	6,594	△ 0.4	14,164	0.3	14,322	0.5	95.9
	(期末) 2017年1月20日	6,504	△ 1.8	14,026	△ 0.7	14,214	△ 0.2	96.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2016. 7. 21 ~ 2017. 1. 20）

■海外債券市況

・先進国

先進国債券市況は、当作成期間を通して金利はおおむね上昇しました。第83期首より、金利は横ばい傾向で推移しましたが、2016年10月以降は、E C B（欧州中央銀行）の資産買い入れの減額観測が出たことや、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し同氏の政策が米国景気の拡大やインフレの加速をもたらすととの観測が強まったことなどから、金利は上昇しました。また、O P E C（石油輸出国機構）が総会で減産に合意し原油価格が上昇する中でインフレ期待が高まったことも、金利上昇の材料となりました。

・新興国

新興国債券市況は、個別の材料に加えて、原油など資源価格の動向をめぐる思惑や米国での大統領選挙、また欧米の金融政策などに振らされる展開となりました。

トルコでは、クーデター未遂事件を受けた肅正やテロなどの地政学リスクや憲法改正の議論など政治的不透明感の高まりなどを背景に金利は上昇しました。南アフリカでは、ゴードン財務相に対して裁判所から出廷命令が出されるなど政治的な不透明感を背景に金利が上昇する局面もありましたが、2016年12月の格付けの見直しで投資適格水準を維持できたことなどから金利上昇幅を縮小し、当作成期間を通してみると小幅な変化にとどまりました。メキシコでは、トランプ新米国大統領がN A F T A（北米自由貿易協定）を批判し、米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化などを公約しており、メキシコ経済の不透明感の高まりを受けて金利は上昇しました。

■為替相場

・先進国

為替相場は、当作成期間を通して上昇（円安）しました。第83期首より、日銀の金融政策への失望感などから円高が進行しました。その後はおおむね方向感のない推移となりましたが、2016年10月以降は、原油価格の上昇や米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、円安が進みました。また、内外金利差の拡大も円安の材料となりました。しかし12月半ばからは、英国のE U（欧州連合）離脱への懸念が高まったことなどから、英ポンド円の上昇幅が縮小しました。

・新興国

米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米ドル高観測や米国での利上げ観測

が新興国通貨安の要因となった一方で、市場心理の改善や日米の金利差の拡大が米ドル高円安につながりました。

トルコ・リラは、地政学リスクや政治的不透明感の高まり、また対外ぜい弱性を背景に対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、政治的な不透明感が後退したことや円安の進展を受け、対円で上昇しました。メキシコ・ペソは、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し同国への悪影響が懸念されたことなどから、対円で下落しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

先進国セレクト債券マザーファンドおよび新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

マザーファンドの組入比率については、標準組入比率（先進国セレクト債券マザーファンド：60%、新興国セレクト債券マザーファンド：40%）に合わせることを基本とします。

マザーファンドの組入比率の合計は90%程度以上を維持する方針です。

■先進国セレクト債券マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の政策金利の見通しや金融市場の動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■新興国セレクト債券マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

（2016. 7. 21 ～ 2017. 1. 20）

■当ファンド

先進国セレクト債券マザーファンドおよび新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券に投資しました。各組入比率については、当期間中の標準組入比率（先進国セレクト債券マザーファンド：60%、新興国セレクト債券マザーファンド：40%）に合わせることをめざしました。

■先進国セレクト債券マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%）に基づき、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させました。

当期間の債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、3（年）～7（年）程度の範囲内で変動させました。

■新興国セレクト債券マザーファンド

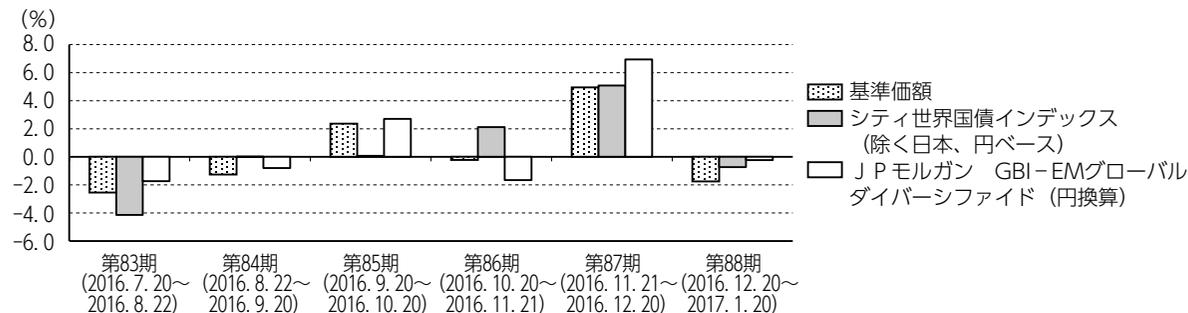
主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、ファンドの特色に定めておりますように、各国の債券および為替相場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で通貨を選定します。当期間については、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±25%程度の範囲内で変動させました。

当期間の債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債にて運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第83期から第88期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ60円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期
	2016年7月21日 ～2016年8月22日	2016年8月23日 ～2016年9月20日	2016年9月21日 ～2016年10月20日	2016年10月21日 ～2016年11月21日	2016年11月22日 ～2016年12月20日	2016年12月21日 ～2017年1月20日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（%）	0.92	0.94	0.92	0.93	0.90	0.92
当期の収益（円）	26	22	29	25	30	24
当期の収益以外（円）	33	37	30	34	29	35
翌期繰越分配対象額（円）	528	490	459	424	395	360

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期
(a) 経費控除後の配当等収益	26.21円	22.09円	29.68円	25.01円	30.33円	24.95円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	20.69	21.05	21.40	21.73	22.05	22.33
(d) 分配準備積立金	541.14	507.00	468.76	438.13	402.83	372.88
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	588.06	550.16	519.85	484.87	455.21	420.18
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	528.06	490.16	459.85	424.87	395.21	360.18

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■ 当ファンド

先進国セレクト債券マザーファンドおよび新興国セレクト債券マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

マザーファンドの組入比率については、標準組入比率（先進国セレクト債券マザーファンド：60%、新興国セレクト債券マザーファンド：40%）に合わせることを基本とします。

マザーファンドの組入比率の合計は90%程度以上を維持する方針です。

■ 先進国セレクト債券マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%）に基づき、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させます。

ポートフォリオの修正デュレーションについては、3（年）～7（年）程度の範囲内で柔軟に変動させます。

■ 新興国セレクト債券マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第83期～第88期 (2016.7.21～2017.1.20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	46円	0.706%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,509円です。
（投信会社）	(20)	(0.305)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(25)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	10	0.155	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(10)	(0.152)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	56	0.862	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年7月21日から2017年1月20日まで)

決算期	第83期～第88期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
先進国セレクト債券 マザーファンド	—	—	8,379	12,158
新興国セレクト債券 マザーファンド	—	—	5,038	5,410

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第83期～第88期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表 親投資信託残高

種類	第82期末	第88期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
先進国セレクト債券 マザーファンド	42,820	34,440	52,470
新興国セレクト債券 マザーファンド	38,348	33,309	34,345

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年1月20日現在

項目	第88期末	
	評価額	比率
	千円	%
先進国セレクト債券マザーファンド	52,470	58.7
新興国セレクト債券マザーファンド	34,345	38.4
コール・ローン等、その他	2,520	2.9
投資信託財産総額	89,335	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝115.15円、1カナダ・ドル＝86.40円、1オーストラリア・ドル＝87.03円、1イギリス・ポンド＝142.05円、1トルコ・リラ＝30.09円、1メキシコ・ペソ＝5.25円、1南アフリカ・ランド＝8.50円です。

(注3) 先進国セレクト債券マザーファンドにおいて、第88期末における外貨建純資産（52,166千円）の投資信託財産総額（53,294千円）に対する比率は、97.9%です。
新興国セレクト債券マザーファンドにおいて、第88期末における外貨建純資産（32,994千円）の投資信託財産総額（34,691千円）に対する比率は、95.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年8月22日)、(2016年9月20日)、(2016年10月20日)、(2016年11月21日)、(2016年12月20日)、(2017年1月20日) 現在

項目	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末
(A) 資産	96,904,656円	94,854,385円	94,692,115円	92,426,946円	93,901,421円	89,335,793円
コール・ローン等	1,513,957	1,441,836	1,435,154	1,403,110	1,390,045	1,352,251
先進国セレクト債券 マザーファンド（評価額）	57,199,617	56,351,465	55,792,121	55,768,190	55,316,814	52,470,305
新興国セレクト債券 マザーファンド（評価額）	38,191,082	37,061,084	37,464,840	35,255,646	37,194,562	34,345,290
未収入金	—	—	—	—	—	1,167,947
(B) 負債	1,014,153	995,356	984,202	978,512	949,112	2,078,502
未払収益分配金	886,343	886,966	873,166	862,067	842,485	812,470
未払解約金	—	—	—	—	—	1,153,638
未払信託報酬	127,093	107,064	109,098	113,867	103,467	108,620
その他未払費用	717	1,326	1,938	2,578	3,160	3,774
(C) 純資産総額（A－B）	95,890,503	93,859,029	93,707,913	91,448,434	92,952,309	87,257,291
元本	147,723,958	147,827,687	145,527,729	143,677,970	140,414,234	135,411,824
次期繰越損益金	△ 51,833,455	△ 53,968,658	△ 51,819,816	△ 52,229,536	△ 47,461,925	△ 48,154,533
(D) 受益権総口数	147,723,958口	147,827,687口	145,527,729口	143,677,970口	140,414,234口	135,411,824口
1万口当り基準価額（C/D）	6,491円	6,349円	6,439円	6,365円	6,620円	6,444円

* 第82期末における元本額は153,432,355円、当作成期間（第83期～第88期）中における追加設定元本額は630,914円、同解約元本額は18,651,445円です。

* 第88期末の計算口数当りの純資産額は6,444円です。

* 第88期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は48,154,533円です。

世界セレクト債券ファンド（毎月決算型）

■損益の状況

項目	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期
(A) 配当等収益	△ 2円	△ 2円	△ 5円	△ 1円	△ 2円	△ 6円
支払利息	△ 2	△ 2	△ 5	△ 1	△ 2	△ 6
(B) 有価証券売買損益	△ 2,393,412	△ 1,104,163	△ 2,292,122	△ 91,796	△ 4,527,680	△ 1,461,785
売買益	70,549	25,835	2,312,467	1,508,507	4,539,721	373,691
売買損	△ 2,463,961	△ 1,129,998	△ 20,345	△ 1,600,303	△ 12,041	△ 1,835,476
(C) 信託報酬等	△ 127,810	△ 107,673	△ 109,710	△ 114,507	△ 104,049	△ 109,234
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 2,521,224	△ 1,211,838	△ 2,182,407	△ 206,304	△ 4,423,629	△ 1,571,025
(E) 前期繰越損益金	△ 42,241,993	△ 45,649,560	△ 46,971,522	△ 45,048,916	△ 45,034,855	△ 39,946,841
(F) 追加信託差損益金	△ 6,183,895	△ 6,220,294	△ 6,157,535	△ 6,112,249	△ 6,008,214	△ 5,824,197
(配当等相当額)	(305,702)	(311,276)	(311,479)	(312,250)	(309,628)	(302,507)
(売買損益相当額)	(△ 6,489,597)	(△ 6,531,570)	(△ 6,469,014)	(△ 6,424,499)	(△ 6,317,842)	(△ 6,126,704)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 50,947,112	△ 53,081,692	△ 50,946,650	△ 51,367,469	△ 46,619,440	△ 47,342,063
(H) 収益分配金	△ 886,343	△ 886,966	△ 873,166	△ 862,067	△ 842,485	△ 812,470
次期繰越損益金 (G + H)	△ 51,833,455	△ 53,968,658	△ 51,819,816	△ 52,229,536	△ 47,461,925	△ 48,154,533
追加信託差損益金	△ 6,183,895	△ 6,220,294	△ 6,157,535	△ 6,112,249	△ 6,008,214	△ 5,824,197
(配当等相当額)	(305,702)	(311,276)	(311,479)	(312,250)	(309,628)	(302,507)
(売買損益相当額)	(△ 6,489,597)	(△ 6,531,570)	(△ 6,469,014)	(△ 6,424,499)	(△ 6,317,842)	(△ 6,126,704)
分配準備積立金	7,495,011	6,934,667	6,380,691	5,792,319	5,239,773	4,574,767
繰越損益金	△ 53,144,571	△ 54,683,031	△ 52,042,972	△ 51,909,606	△ 46,693,484	△ 46,905,103

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の一部を委託するために要する費用：54,646円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期
(a) 経費控除後の配当等収益	387,308円	326,622円	432,013円	359,405円	425,892円	337,933円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	305,702	311,276	311,479	312,250	309,628	302,507
(d) 分配準備積立金	7,994,046	7,495,011	6,821,844	6,294,981	5,656,366	5,049,304
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	8,687,056	8,132,909	7,565,336	6,966,636	6,391,886	5,689,744
(f) 分配金	886,343	886,966	873,166	862,067	842,485	812,470
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	7,800,713	7,245,943	6,692,170	6,104,569	5,549,401	4,877,274
(h) 受益権総口数	147,723,958口	147,827,687口	145,527,729口	143,677,970口	140,414,234口	135,411,824口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円
(単 価)	(6, 491円)	(6, 349円)	(6, 439円)	(6, 365円)	(6, 620円)	(6, 444円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

先進国セレクト債券マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2017年1月20日)

(計算期間 2016年7月21日～2017年1月20日)

先進国セレクト債券マザーファンドの第15期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	先進国通貨建ての債券
運 用 方 法	<p>①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 投資対象通貨および基本通貨配分は、各通貨建ての債券の金利水準、信用力、市場規模、流動性等を勘案して決定します。 ※投資対象通貨および基本通貨配分は、投資環境等が著しく変化した場合に変更することがあります。</p> <p style="margin-left: 20px;">ロ. 基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して、実際の運用における通貨別投資比率を決定します。</p> <p style="margin-left: 20px;">ハ. 投資対象とする債券は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証するものとします。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10% 以下

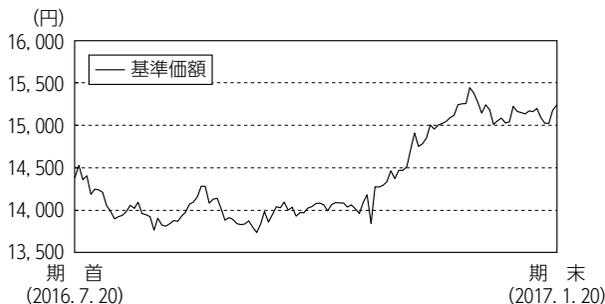
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) (参考指数)		公社債 組入 比率
	円	騰落率 %	騰落率	%	
(期首)2016年7月20日	14,385	—	13,725	—	98.4
7月末	14,212	△ 1.2	13,617	△ 0.8	97.8
8月末	14,073	△ 2.2	13,423	△ 2.2	98.3
9月末	13,862	△ 3.6	13,295	△ 3.1	98.0
10月末	14,038	△ 2.4	13,280	△ 3.2	97.6
11月末	14,852	3.2	13,807	0.6	97.0
12月末	15,041	4.6	14,164	3.2	98.7
(期末)2017年1月20日	15,235	5.9	14,026	2.2	98.5

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：14,385円 期末：15,235円 騰落率：5.9%

【基準価額の主な変動要因】

債券価格がおおむね下落したことは基準価額のマイナス要因となりましたが、投資している債券の利息収入や投資している通貨が円に対しておおむね上昇したことが、基準価額のプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券市況は、期を通して金利はおおむね上昇しました。期首より、金利は横ばい傾向で推移しましたが、2016年10月以降は、E C B (欧州中央銀行)の資産買い入れの減額観測が出たことや、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し同氏の政策が米国景気の拡大やインフレの加速をもたらすとの観測が強まったことなどから、金利は上昇しました。また、O P E C (石油輸出機構)が総会で減産に合意し原油価格が上昇する中でインフレ期待が高まったことも、金利上昇の材料となりました。

○為替相場

為替相場は、期を通して上昇(円安)しました。期首より、日銀の金融政策への失望感などから円高が進行しました。その後はおおむね方向感のない推移となりましたが、2016年10月以降は、原油価格の上昇や米国の大統領選挙で勝利したトランプ氏の政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、円安が進みました。また、内外金利差の拡大も円安の材料となりました。しかし12月半ばからは、英国のE U (欧州連合)離脱への懸念が高まったことから、英ポンド円の上昇幅が縮小しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の政策金利の見通しや金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、基本通貨配分(豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%)に基づき、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させました。

当期の債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、3(年)～7(年)程度の範囲内で変動させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

通貨配分につきましては、基本通貨配分(豪ドル50%、米ドル16.67%、カナダ・ドル16.67%、英ポンド16.67%)に基づき、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±16.67%程度の範囲内で変動させます。ポートフォリオの修正デュレーションについては、3(年)～7(年)程度の範囲内で柔軟に変動させます。

先進国セレクト債券マザーファンド

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	14 (14)
合 計	14

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2016年7月21日から2017年1月20日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 11 (—)
	カナダ	千カナダ・ドル —	千カナダ・ドル 16 (—)
国	オーストラリア	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 90 (—)
	イギリス	千イギリス・ポンド —	千イギリス・ポンド 6 (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年7月21日から2017年1月20日まで)

当 期		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
		EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 6% 2020/8/6	4,616
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 6.25% 2019/12/4	2,644
		ONTARIO PROVINCE (カナダ) 4.2% 2020/6/2	1,415
		United Kingdom Gilt (イギリス) 8.75% 2017/8/25	897
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 8.75% 2020/8/15	717
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 0.75% 2017/12/31	562

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 75	千アメリカ・ドル 74	千円 8,581	% 16.4	% —	% 13.9	% 1.4	% 1.1
カナダ	千カナダ・ドル 95	千カナダ・ドル 101	8,744	16.7	—	16.7	—	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 270	千オーストラリア・ドル 305	26,587	50.7	—	3.9	46.8	—
イギリス	千イギリス・ポンド 51	千イギリス・ポンド 54	7,764	14.8	—	9.4	—	5.4
合 計	—	—	51,678	98.5	—	43.8	48.1	6.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	0.7500	千アメリカ・ドル 5	千アメリカ・ドル 4	千円 575	2017/12/31
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	63	61	7,054	2023/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	8.7500	5	6	716	2020/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.1250	2	2	234	2044/08/15
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		75	74	8,581	
カナダ	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.1500	千カナダ・ドル 95	千カナダ・ドル 101	8,744	2022/06/02
	通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄	95	101	8,744	
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.5000	千オーストラリア・ドル 20	千オーストラリア・ドル 23	2,049	2023/04/21
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.0000	50	55	4,820	2020/08/06
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.2500	200	226	19,717	2021/06/08
	通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄	270	305	26,587	
イギリス	United Kingdom Gilt	国債証券	8.7500	千イギリス・ポンド 19	千イギリス・ポンド 19	2,840	2017/08/25
	United Kingdom Gilt	国債証券	2.2500	32	34	4,924	2023/09/07
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄		51	54	7,764	
合 計	銘柄数 金 額	10銘柄				51,678	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

先進国セレクト債券マザーファンド

■投資信託財産の構成

2017年1月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	51,678 千円	97.0 %
コール・ローン等、その他	1,616	3.0
投資信託財産総額	53,294	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝115.15円、1カナダ・ドル＝86.40円、1オーストラリア・ドル＝87.03円、1イギリス・ポンド＝142.05円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(52,166千円)の投資信託財産総額(53,294千円)に対する比率は、97.9%です。

■損益の状況

当期 自2016年7月21日 至2017年1月20日

項 目	当 期
(A)配当等収益	1,297,783円
受取利息	1,297,796
支払利息	△ 13
(B)有価証券売買損益	1,791,862
売買益	4,073,011
売買損	△ 2,281,149
(C)その他費用	△ 57,307
(D)当期損益金 (A+B+C)	3,032,338
(E)前期繰越損益金	18,777,489
(F)解約差損益金	△ 3,778,884
(G)合計 (D+E+F)	18,030,943
次期繰越損益金 (G)	18,030,943

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年1月20日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	53,294,618円
コール・ローン等	1,128,581
公社債(評価額)	51,678,218
未収利息	487,819
(B)負債	823,041
未払解約金	823,041
(C)純資産総額 (A-B)	52,471,577
元本	34,440,634
次期繰越損益金	18,030,943
(D)受益権総口数	34,440,634口
1万口当り基準価額 (C/D)	15,235円

*期首における元本額は42,820,393円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は8,379,759円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、世界セレクト債券ファンド(毎月決算型)34,440,634円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は15,235円です。

新興国セレクト債券マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2017年1月20日)

(計算期間 2016年7月21日～2017年1月20日)

新興国セレクト債券マザーファンドの第15期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	新興国通貨建ての債券
運用方法	<p>①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②以下の方針を基本として運用を行ないます。</p> <p>イ. 投資対象通貨および基本通貨配分は、各通貨建ての債券の金利水準、信用力、市場規模、流動性等を勘案して決定します。 ※投資対象通貨および基本通貨配分は、投資環境等が著しく変化した場合に変更することがあります。</p> <p>ロ. 基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して、実際の運用における通貨別投資比率を決定します。</p> <p>ハ. 投資対象とする債券は、各国*の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証するものとします。 ※新興国に限るものではありません。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイフ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

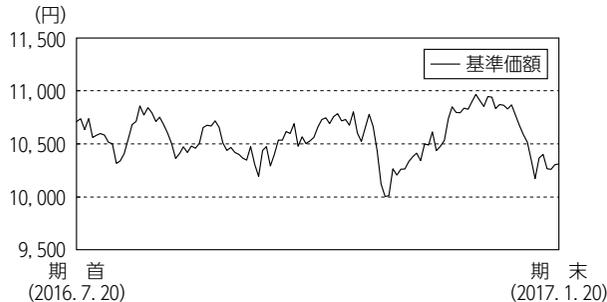
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		J.P. Morgan GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入 比率	
	円	騰落率 %	参考指数	騰落率 %	%	%
(期首) 2016年7月20日	10,709	—	13,532	—	92.5	—
7月末	10,582	△ 1.2	13,277	△ 1.9	93.7	—
8月末	10,479	△ 2.1	13,274	△ 1.9	96.1	—
9月末	10,291	△ 3.9	13,258	△ 2.0	95.5	—
10月末	10,675	△ 0.3	13,570	0.3	95.3	—
11月末	10,488	△ 2.1	13,524	△ 0.1	91.9	—
12月末	10,866	1.5	14,322	5.8	93.1	—
(期末) 2017年1月20日	10,311	△ 3.7	14,214	5.0	93.4	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) J.P. Morgan GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：10,709円 期末：10,311円 騰落率：△3.7%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入は基準価額にプラスに寄りましたが、債券価格の下落や通貨が対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市況は、個別の材料に加えて、原油など資源価格の動向をめぐり、米国の大統領選挙、また欧米の金融政策などに

振られる展開となりました。

トルコでは、クーデター未遂事件を受けた肅正やテロなどの地政学リスクや憲法改正の議論など政治的不透明感の高まりなどを背景に金利は上昇しました。南アフリカでは、ゴードン財務相に対して裁判所から出廷命令が出されるなど政治的不透明感を背景に金利が上昇する局面もありましたが、2016年12月の格付けの見直しで投資適格水準を維持できたことなどから金利上昇幅を縮小し、期を通してみると小幅な変化にとどまりました。メキシコでは、トランプ新米大統領がN A F T A (北米自由貿易協定) を批判し、米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化などを公約しており、メキシコ経済の不透明感の高まりを受けて金利は上昇しました。

○為替相場

米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けて、米ドル高観測や米国での利上げ観測が新興国通貨安の要因となった一方で、市場心理の改善や日米の金利差の拡大が米ドル高円安につながりました。

トルコ・リラは、地政学リスクや政治的不透明感の高まり、また対外ぜい弱性を背景に対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、政治的不透明感が後退したことや円安の進展を受け、対円で上昇しました。メキシコ・ペソは、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し同国への悪影響が懸念されたことなどから、対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、ファンドの特色に定めておりますように、各国の債券および為替相場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で通貨を選定します。当期については、基本通貨配分 (メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±25%程度の範囲内で変動させました。

当期の債券ポートフォリオにつきましては、本国通貨建ての国債にて運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	24 (24)
合 計	24

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2016年7月21日から2017年1月20日まで)

外 国	南アフリカ	国債証券	買 付 額	売 付 額
			千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド
			—	403
			()	()

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年7月21日から2017年1月20日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 10.5% 2026/12/21	1,258
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2017/9/15	977
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 13.5% 2016/9/15	832

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

作 成 期	区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
			評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
	トルコ	千トルコ・リラ 325	千トルコ・リラ 305	千円 9,207	% 26.8	% —	% 13.0	% 5.6	% 8.2
	メキシコ	千メキシコ・ペソ 2,300	千メキシコ・ペソ 2,399	12,598	36.7	—	16.5	—	20.2
	南アフリカ	千南アフリカ・ランド 1,285	千南アフリカ・ランド 1,208	10,268	29.9	—	26.7	—	3.2
	合 計	—	—	32,073	93.4	—	56.1	5.6	31.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

新興国セレクト債券マザーファンド

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	10.5000%	千トルコ・リラ 65	千トルコ・リラ 64	千円 1,932	2020/01/15
	Turkey Government Bond	国債証券	6.3000	30	28	861	2018/02/14
	Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	120	107	3,231	2023/09/27
	Turkey Government Bond	国債証券	9.0000	45	40	1,216	2024/07/24
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	13.6250	65	65	1,965	2017/05/09
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		325	305	9,207	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	千メキシコ・ペソ 650	千メキシコ・ペソ 742	3,896	2024/12/05
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	900	909	4,774	2017/12/14
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	400	411	2,157	2018/12/13
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	350	337	1,769	2042/11/13
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		2,300	2,399	12,598	
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.2500	千南アフリカ・ランド 80	千南アフリカ・ランド 80	682	2017/09/15
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	50	50	426	2018/12/21
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	130	108	919	2031/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.7500	385	373	3,177	2023/02/28
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	640	595	5,062	2048/02/28
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		1,285	1,208	10,268	
合 計	銘柄数 金 額	14銘柄				32,073	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年1月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 32,073	% 92.5
コール・ローン等、その他	2,617	7.5
投資信託財産総額	34,691	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月20日における邦貨換算レートは、1トルコ・リラ=30.09円、1メキシコ・ペソ=5.25円、1南アフリカ・ランド=8.50円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(32,994千円)の投資信託財産総額(34,691千円)に対する比率は、95.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年1月20日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	35,772,913円
コール・ローン等	1,802,064
公社債(評価額)	32,073,741
未収入金	1,097,200
未収利息	747,341
前払費用	52,567
(B)負債	1,426,701
未払金	1,081,795
未払解約金	344,906
(C)純資産総額(A-B)	34,346,212
元本	33,309,369
次期繰越損益金	1,036,843
(D)受益権総口数	33,309,369口
1万口当り基準価額(C/D)	10,311円

* 期首における元本額は38,348,241円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は5,038,872円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、世界セレクト債券ファンド(毎月決算型)33,309,369円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,311円です。

■ 損益の状況

当期 自2016年7月21日 至2017年1月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,533,389円
受取利息	1,533,591
支払利息	△ 202
(B) 有価証券売買損益	△ 2,758,165
売買益	1,733,515
売買損	△ 4,491,680
(C) その他費用	△ 85,489
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,310,265
(E) 前期繰越損益金	2,718,345
(F) 解約差損益金	△ 371,237
(G) 合計 (D + E + F)	1,036,843
次期繰越損益金 (G)	1,036,843

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。